



京都市手話学習会「みみずく」
本部機関紙部発行
会長 石神 博行
事務局 FAX 075 (812) 6112
みみたん通信 第 58 号
<http://www.mimizuku-kyoto.com>
2024 年 1 月 1 日発行



持田氏によるイラスト

2024 年新年のご挨拶

新年、あけましておめでとうございます。

いよいよ2024（令和6）年が始まりましたね。

皆さま、お正月は、いかがお過ごしだったでしょうか。

素敵な年越しをお迎えになりましたか。

振り返ると昨年のお正月、世の中はまだまだ新型コロナウイルス感染症の影響で、患者の数が毎日のように発表されていて、十分な活動もままならない日々でした。私も三が日に発熱して寝込んでしまい、天井だけを見て過ごしておりました。

しかし、それが2月、3月と月が変わるごとに、新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、みんなの活動が活発になってきましたね。

そしていよいよ、2年前から準備を進めておりました、京都市手話学習会「みみずく」60周年記念企画を順次進めました。「みみずくゆかりの地めぐり」から「60周年記念バスツアー」、京都市手話学習会「みみずく」60周年記念誌「60年の歩み」の発行、記念式典の開催、会員お一人お一人のご尽力を頂きながら、盛況のうちに無事終了することができたと思っております。本当に、ありがとうございました。

さて、今年2024（令和6）年は、どんな年になるでしょうか。予測のつかない情勢もありますが、私たちは「みみずく」の60年の歴史に学びながら、変わったことと変わらないことをしっかり見つけ、この活動を未来につないでいきたいと考えています。

今年も京都市手話学習会「みみずく」の活動を盛り上げていきましょう。

京都市手話学習会「みみずく」 会長 石神 博行

～ 目次 ～

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1・・・2024 年新年のご挨拶 | 10・・・ほほえみ広場 |
| 2・・・「みみずく」創立 60 周年記念式典 | 11・・・ほほえみ広場・いこいの村まつり |
| 3・・・創立 60 周年記念式典参加者の声 | 12・・・手話劇を楽しむ会 |
| 4・・・創立 60 周年記念式典参加者の声 | 13・・・楽しいスポーツ大会 |
| 5・・・近江八幡バスツアー | 14・・・活動助成金報告 |
| 6・・・創立 60 周年に寄せて〈その 2〉 | 15・・・全国手話検定試験に挑戦!! |
| 7・・・〃 感想 | 16・・・みみずく会の HP が新しくなったよ |
| 8・・・国際手話を体験しよう | 新 HP & YouTube 開設のお知らせ |
| 9・・・聞こえない人と交流しよう | 行事予定・編集後記 |

京都市手話学習会「みみずく」

創立 60 周年記念式典 開催

明日につなぐ～ろう者と手話とみみずくと～



2023 年 10 月 9 日（月・祝）、全国手話研修センターにて、京都市手話学習会「みみずく」創立 60 周年記念式典を無事開催することができました。私は所属している支部の事情で 2023 年 5 月から加入しましたが、多くの実行委員の皆さんは約 2 年がかりの大仕事。では、私たちが一体どのような事業を行ったのか、会員の皆様はご存知でしょうか。改めてご紹介します。

ゆかりの地めぐり 参加者 25 名（うち聴覚障害者協会より 6 名）

われらが、もっちーさん（持田隆彦さん）がナビゲーターとなり、みみずく会ゆかりの地をめぐりました。市バスを活用しての団体での移動は大変だったそうですが、参加者からは「勉強になった」「楽しかった」などの声がよせられました。

記念グッズ作成・販売

みみたんが赤いちゃんちゃんこを着た特別マークをデザインし、T シャツ、トートバック、タオルを作成しました。



受注生産スタイルにしたので、まさに限定のグッズになりました。

近江八幡バスツアー 参加者 47 名（うち聴覚障害者協会より 19 名）

コロナ禍に準備を進めてきたので、施設見学などは控え、楽しい交流企画にしました。晴天に恵まれて、ラ・コリーナ近江八幡や八幡堀を散策し、近江八幡休暇村では豪華な昼食をいただきました。久しぶりに飲食を交えての交流はとても楽しかったです。

記念誌（500 円で販売しています）

みみずく会 50～60 年の歩みを中心に、支部紹介や歴代会長の思いなどを盛り込んだ全 64 ページ。新しく入会された方にも是非読んでいただきたい記念誌になりました。



記念式典 来場者数 320 名

ご来場いただいた方に楽しんでほしい、手話でたくさんの方と交流してほしい、そんな思いで、記念式典、長く伝統工芸の世界に携わるろう者の話を聞くトークショー、簡単なゲームに挑戦するスタンプラリーを企画しました。

当日は「情報保障に対する配慮が足りない」「配信がうまくいかない」など、準備や想定不足からご迷惑をおかけしましたことがたくさんありました。

☆☆☆ 10 年に 1 回の周年行事、次の 70 周年？には万全の状態できたらと思いますが、みんな 10 年、年を重ねるのですよね……。☆☆☆

京都市手話学習会「みみずく」創立 60 周年記念事業実行委員会 竹井友子



YouTube お祝い手話ルー



「京都」
※市ネット前委員長
小山 貞夫氏



「市」
市聴協山科支部手話対策部長
大槻 弘昭氏



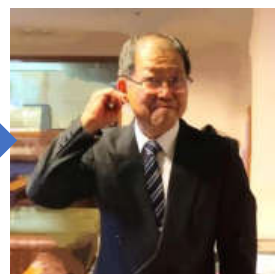
「手話」
6 代目会長
持田 隆彦氏



「学習」
市聴協北支部支部長
濱島 薫氏



「会」
北部建設委員会会長
古高 雅明氏



「みみずく」
24 代現会長
石神 博行氏

【参加者の声】



「みみずく」創立 60 周年記念に参加して
このような記念すべき式典に参加させていただき、大変うれしく思います。次に向かうべく 70 周年を迎えられるように、これ迄以上に手話の学習、また聞こえない方、聞こえにくい方への配慮や工夫を考えていきたいと思います。最近では、テレビで手話を使うドラマなどが放送され、東山支部もサークル部員が増え、学習年数もばらばらになりつつあります。今後、70 周年に向けて自分自身の手話の向上と日本全国どこでも手話が通じる社会を作る為、努力していきたいと思います。
今回、このような式典を開催していただきありがとうございました。
東山支部 森本千鶴



「創立」
2 代目会長
谷 勇男氏



「60 周年」
19 代目会長
石井 眞紀氏



「おめでとうございます！」
17 代目会長 三井 トミ子氏
石神 恭子氏（左）

※市ネット…聴覚言語障害者の豊かな暮らしを築く京都市ネットワーク



一部 記念式典



二部 トークショー

「みみずく」創立60周年記念に参加して
60周年記念式典は非常に楽しかったです。大変お疲れ様です！
知らない伝統文化の話、歴史の話も聞かれてトークショーが興味深く
て素敵な機会だとも思いました。スタンプラリーも他の参加者の皆さん
と楽しんで、本当によかったと思います。✧✧

愛知県在住 Greice Luize S. S. (ブラジル出身)



キャップ積み



豆つかみ



紙飛行機
的当て
スタンプラリー



カードでクイズ



的当て



「みみずく」創立60周年記念に参加して
式典の会場にギリギリで到着。椅子に座れなくて立っている方がたく
さんいらっしゃってビックリしました。スタッフの方が慌てて椅子を追
加して並べられていました。楽しいイベントにも参加。ゲームでは本気
になって頑張っていました。まわりの方々の多くの笑顔が一杯。あ
っという間に時間は過ぎました。

役員、スタッフの皆様ありがとうございました。準備が本当に大変だ
ったと思います。お疲れ様でした。

下京支部 竹中かおる



みみずく体操



第三部



みみずくクイズ



近江八幡バスツアー



9月24日(日)「みみずく」創立60周年記念企画として、近江八幡バスツアーが開催されました。

参加者47名(うち聴覚障害者協会より19名)

京都市役所前を9時に出発、ラ・コリーナ近江八幡で休憩、近江八幡休暇村での昼食(近江牛と琵琶湖八珍)、八幡山ロープウェイ、八幡堀巡り、町並み散策に行きました。

「みみずく」創立60周年記念の近江八幡バスツアーに参加しました。まずはお目当てのお土産のバウムクーヘンをゲットしました。(家に帰ってから早速食べてみたら、焼きたてのような柔らかさでナイスでした。)昼食は、近江牛をいただきながら同席の人たちと楽しく交流しました。フリータイムでは、近江八幡の町をゆっくり散策したあと、暑かったため喫茶店で休憩しておしゃべりしました。行き帰りのバスの中では、クイズやゲームの時間があり退屈しませんでした。バスツアーを通じて、久しぶりに他支部のろう者やみみずく会員とゆっくり交流できて、とても楽しかったです。実行委員の皆さん、準備・手配などありがとうございました。



中京支部 夜の部 中東京子

みみずく会に入ってから今年で5年目。過去に4年間通っていた時も含め、節目の年を迎えたことがなかったので、この60周年という年に在籍できたことを、とても嬉しく思っていました。そしてなんと、記念のバスツアーまで企画されていると知り、思い出作りにと申し込みました。バスの中では、隣の席のろう者と話がはずみ、初めてのラ・コリーナ近江八幡にワクワクしました。近江八幡では、思いがけず水郷めぐりを体験でき、心地よい秋風を感じながら、楽しいひとときを過ごしました。日頃あまり出会わない方とお話することができたのも、良い機会になりました。実行委員の皆様には、大変お世話になりました。

ありがとうございました。

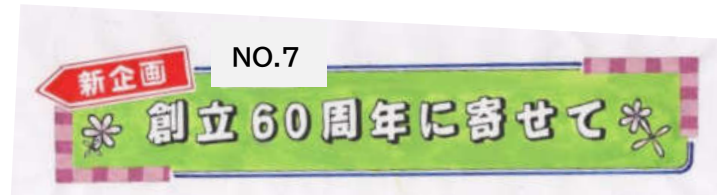
山科支部 昼の部 遠藤理子

【企画担当より】

2021年から、企画・準備をしました。その頃はコロナ禍が猛威をふるっている真っ最中で、どこの福祉施設見学予約も出来ない状況。それでも記念すべき60周年として、「バスツアーをやしましょう」と、実行委員の皆さんに背中を押してもらい、企画しました。担当の者(山本、鈴木)は、みみずく本部での活動歴は無に等しい者でしたが、会長を始め、他企画部の援助、助言の中、当日を迎えることができました。

当日はやっと涼しくなり始めた清々しい日でした。福祉見学などは無く、物足りない意見もありましたが、コロナ禍終焉の兆しでホッとしている中、久々の顔と顔を合わせることができ、とても楽しい企画となりました。ゲーム担当、聴言センターまでの送り迎え、バス内の手話通訳等々、現地での見守り隊など、皆さんの優しさがいっぱい詰まったバスツアーとなりました。ありがとうございます。

山科支部 昼の部 鈴木真理子



「みみずく」創立60周年にあたり、橋本様より寄稿をいただきました。2号に渡り掲載させていただきます。



人生を変えてくれたみみずく会

〈その2〉

《前号からの続き》

今思うと、みみずく会はろうあ者が周りにいっぱいいた。そうした状況が当たり前だったので、手話をまったく知らないまったく聞こえない変な男があらわれたとしても、筆談でサポートしようとする人は現れなかったのだ。当時のみみずく会員の、私に対する見方は、「あの新しく入ってきた変な男は聞こえないらしい。しかし、他のろうあ者と同じように手話ができるようになればいいのだ」程度の意識だっただろうと思う。

かくて私は、他の日常の場所におけるのと同じように、聞こえない人のために活動しているみみずく会でも、聞こえないために他の会員が味わわない苦しみを（こう書けば大げさだろうか？）味わうことになる。

そして、この時に味わった苦しみが私のその後の活動の原点になり、他のろうあ者の役員と考え方が決定的に違う原因になった。なぜかといえば、他のろうあ者の多くにとって手話は、幼いころからの仲間との交わりの中で自然と身につけたものであり、手話の習得に特別な苦勞をしたことのない方がほとんどだということを、その後の活動でだんだん私は悟っていくことになる。

じゃ、私はどうして手話を身につけたのか。それを説明すると、みみずく会に入ったとき「手話の手引き」という、ふだん使う基本的な手話の解説を載せた冊子を貰った。今でこそ手話本は書店にもあるが、当時はそんなものしかなかったのだ。

例会で、意味はわからないまま、繰り返し表現される身振りを目に焼き付けておく。そして帰ってから「手話の手引き」を開いて、あの身振りの意味はこれだ。この身振りの意味はこれだというようにして、ひとつひとつの身振り（手話）の意味を覚えていった。このようにして、わかる手話が増えていって、あるとき突然、話されている表現の全体がわかるようになった。つまり、相手が何を言っているか、そのときはじめて文字に頼らずわかるようになった。

こうして、手話を覚えていったが、その過程は簡単ではなかった。周りの会員の中では、「なんで橋本は手話を覚えるのが遅いのだ」と言われていたらしい。あるとき、向野嘉一氏と高田英一氏のやりとりを目撃したことがある。向野さんは手話でなく、口で話しながら同時に指文字を猛烈な速さで使っていた。音声言語ができる高田さんにはそれで通じるらしいが、私はびっくりした。

そして、まだ手話をあまり覚えていない私に向かって、向野さんは同じように猛烈な速さで指文字を使いながら話しかけてくる。向野さんにしたら他に方法がなかったのだろうが、全然読み取れない私は困惑した。向野さんはそうした私にいらだっているようすで、私はすっかり自信をなくした。「あんな指文字が読み取れなかったらやっていけないのか。そんなら手話を覚えるのはもう止めよう」とまで思い詰めた。

それでも、みみずく会に行くのをやめなかったのは、他にコミュニケーションが出来る喜びを味わえる場所がなかったこと。もう一つは先にも書いたようなよこしまな動機があったからだ。

先に、「あるとき突然、手話で話されている表現の全体がわかるようになった。つまり、相手が何を言っているかわかるようになった」と記したが、このことの意義は聞こえる人にはわかって貰えないかもしれない。筆談では1対1でしか意味のやりとりができない。大勢の人と共有できない。しかし、手話を読み取れるようになったことで、また、手話で自分の言いたいことを声を伴いながらではあっても表現できるようになったことで、周りの人たちとのコミュニケーションをリアルタイムで共有できるようになったのだ。こうして私は、筆談の軛から解放されて、広く豊かなコミュニケーションの世界に入っていくことができた。

これによって私は、仲間と力を合わせて何かに取り組むことができるようになった。孤独な、自分の周りの狭い世界で生きていた私が、みみずく会の活動から始めてろうあ者運動に、そして難聴者運動に自分の世界を拓げていくことができたのだ。

手話を覚えたことで、のちに上京して仕事探しをしたときも手話が武器になった。東京の障害者職業相談員はろう者だったので、手話でいろいろ相談して、その後の職業確保ができた。

苦労もあったが、手話は私の人生を根本から変えてくれた。その意味でみみずく会には言葉に尽くせないほど感謝している。最後に私が手話を覚えはじめたころの感動を歌った一首を記しておきたい。

耳聞こえず卑屈に生きて来たれども

いきいきと手話は会場に満つ



はしもと ひでかず
橋本 英憲

「感想」

当時、伊東先生の紹介でやってきた橋本君に、どう対応していいかわからず、ろう学校は卒業していないが、先生の知り合いだから失礼があってはいけないと、ほとんどの会員が萎縮していたかもしれない。それでも彼を呼ぶ時は、伊東先生をまねて「橋本君」とか「英憲（えいけん）君」と親しみを込めて呼んでいたがけっして疎外感を持っていなかったと思う。筆談して一言言ってくれたら良かったのに、ほんまにどうあつかっていいのかわからなかったのが正直なところ。それと、手話サークルが出来たばかりで、筆談という考えまでは全く頭が回っていなかった。

でも彼は悩んでいたんですね。知らなかった。私と彼はよく一緒にうろうろしていたから、何も感じていなかった。ほんま能天気な私でごめん。

そうそう、ある時「持っちゃん、もし僕が先に死んだら、僕が持っている本、全部君にやるよ」と言っていたことがあった。先日「持っちゃん、前に言ったこと覚えてるか」と言っていた。「覚えてるで。忘れへんで」と言ったら笑っていた。

私にとっては今も仲間の一人です。彼は私をボロカスに言うけどね.....。

南支部 持田 隆彦

「国際手話を体験しよう！」

9月10日（日）みぶ会館にて、京都市聴覚障害者協会 情報・コミュニケーション委員会 委員長の高木貞治氏による講演会「国際手話を体験しよう！」を開催しました。私は企画担当側として参加しました。その内容をご報告します。

講演は①世界ろうあ者会議って？②フランスに行った時の楽しいお話③国際手話の体験の三部構成でお話いただきました。①ではフランスで開催された世界ろうあ者会議に出席された時の様子やその歴史について教えていただきました。②では凱旋門に沈む夕日やモンサンミッシェルなど美しい写真を見ながら盛りだくさんの内容でした。

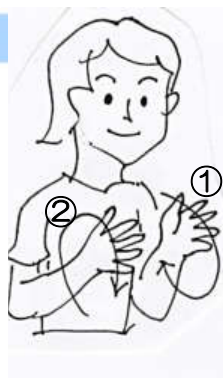
フランスの地下鉄事情また、世界ろうあ者会議の記念バックを持っていたら、観光地でエレベーターに優先して乗せてもらえたエピソードなど、「へー」と驚くようなお話がたくさんありました。そして、世界最初のろう学校はフランスで設立され、手話教育が行われたこともご説明いただきました。最後③では、国際手話を実際にまねてやってみました。最初は単語「手話」「言語」「父」「母」などなど。次は単語をつなげて短い文章に挑戦です。日本の手話に似ているものもあり驚きました。参加者からは「これはどう表すの？」と次々に質問が出ていました。

高木氏が最後におっしゃっていたことは、国際手話はイメージが大切ということです。また外国の方は表情などもとても豊かだとおっしゃっていました。

43名（聴障者9名聴者34名）の方にご参加いただいた講演会は、私にとって楽しく学びのあるものになりました。

最後になりましたが講師の高木氏、ご参加いただいた皆さまありがとうございました。

中京支部屋の部 尾島美佳



手話(sign)

交互に回す



**言語
(language)**



父(father)

ひげをつまむように引く



母(mother)

軽く頬を2回叩く

聞こえない人と交流しよう！

に参加して

11月12日（日）、聞こえない方10名、みみずく会員19名の参加で、みぶ身体障害者福祉会館で行われました。

毎週の「みみずく」の例会では会わない他支部の聞こえない方々と、5つのグループに分かれて手話でお話しました。

お話のテーマは「私の健康法」、「好きな本・映画」、「一番やりたい事」、「昔の遊び」などなど、時間が足りないくらいでした。私のグループでは、映画や旅行の話で大いに盛り上がりました。

途中で、より多くの聞こえない方々とお話するため、席替えもしました。

聞こえない方々とこんなにゆっくりお話できる機会は少ないと思いました、もっとみみずく会員さんに参加してほしいです。少し残念でした。

「みみずく」本部学習部 西田弘美



～ 京都市手話学習会「みみずく」目的 ～

手話を学んで、ろうあ者の良き友となり、全ての人に対する差別や偏見をなくしていくために努力し、その活動を通じて私たち自身も向上していく

9月16日（土）に市聴協が「ほほえみ広場」で「手話体験コーナー」をするという事で、私は要員として参加しました。

まず、ポルタで開催された「ほほえみ広場プレ企画」では、「手話体験コーナー」以外に視覚障害者のブースや障害者施設の自主作品の販売などもありました。

私の担当は午前中、「手話を覚えてみませんか？」「手話体験してみませんか？」と呼びかけをしました。けれど、行きかう人は外国人旅行客や修学旅行生ばかりで、なかなか体験してもらえませんでした。体験者は4人でした。市聴協の中山会長と女性部長の山崎さんの表現を見ながら、挨拶の表現を体験しておられました。

本番は、10月21日（土）KBSホールで開催されました。

入り口前からホールまで、バザーや自主作品販売、体験コーナーがあり、ステージでは、歌やダンス手品などの発表がありました。

私は、市聴協の「手話体験ブース」で読み取り通訳等のお手伝いをしました。

体験コーナーをまわるスタンプラリーもあったので、沢山の方々が手話を体験に来られました。体験された方が、手話に興味を持ってこれを機に続けてもらえたらいいなと思いました。

要員が午前中で終わったので、販売ブースを見てスタンプラリーを楽しみました。

視覚障害者のコーナーでは、視覚に障害があってもできるオセロや、点字迷路の本等の体験ができるようになっていました。私は、迷路の本の1番簡単なものをやってみました。

点字を触ってゴールまで行くのですが、見えていてもなかなかゴールにたどり着けなくて難しかったです。「えっ、行き止まり」「終わらへんかも？」と思いながら時間はかかりましたが、何とかゴールにたどり着く事が出来て、おもしろかったです。

以前は、梅小路公園で開催されていた「ほほえみ広場」ですが、規模が縮小されての開催でした。

今回開催されて思った事がありました。午前中に開会式があってそこで受賞者（賞の名前は忘れました）に賞状授与の時に、本当は会長から渡す予定だったそうですが、体調不良のため遅れて来られると説明があり、代わりに副会長から渡すことに急遽なったようでした。賞状を渡す様子を見ていたら、副会長は市聴協の中山会長でした。賞状を手話で読むのだと思っていたら、賞状を持ってきた方が手話通訳者に「読んであげてください（小声）」と言われて代読されて、中山さんは読み終わるまで賞状を持っているだけでした。

中山さんが手話表現し、手話通訳者が読み取ることをなぜ出来なかったのか？？疑問に思いました。突然の出来事で、このような方法でやることになったのかなぁとも思いました。

でもこのイベントは障害者団体等が参加し、啓発活動にも繋げているはずなのにと私は少し残念に思いました。

南支部 川合久美子

ほほえみ広場

西京支部

KBS ホールの屋外で参加しました。外は風が吹き、時折小雨の悪天候で寒かったです。お客様？も少なくサバーでした。「指文字カード」と「単語」で手話啓発をしました。市聴協の高山さんがご来店？ 私が「も」の指文字を「毛布」と表現したら、「桃」だろう…と笑って応援して下さいました。閑古鳥の鳴く私達のブースに元気を運び励まして頂きました。また、親子連れの方が印象に残っています。バナナ・さる・スイカなど、生き生きと表現して手話を楽しんでおられました。

身振りは気持ちも伝わる、私たちも良い体験になりました。
頑張った西京支部でした。



西京支部 成田眞由美

Go Go いこいの村 まつり

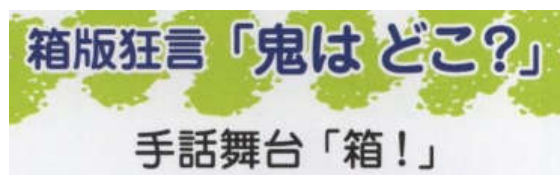
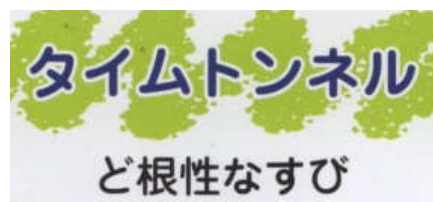
つなげよう！ 咲かせよう！
みんなの笑顔 2023

10月21日(土) いこいの村聴覚言語障害センター(綾部市)にて、いこいの村まつりが開催されました。盛り上がった様子などが、いこいの村機関紙第445号に載っております。ぜひご覧下さいませ↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓



手話劇を楽しむ会

参加団体



手話を楽しむ会（第22回旧手話劇コンクール京都大会）が、11月19日（日）北文化会館で開催されました。手話劇は、新型コロナウイルス感染拡大のため休止していたので、4年ぶりの開催となりました。

参加は3団体でしたが、どのチームも「待ってました！」の勢いで充実した演技を披露してくれました。十分な練習時間がとれる状況ではなかったとおっしゃる団体も、本番では生き生きと演技され、演者も観客も楽しめたのではないのでしょうか。聞こえない人も聞こえる人も、同じ空間を共有できる素晴らしい会だったと思いました。

来賓の方や演者みなさんのお話にもありましたが、本当に手話劇ができる日を待ち望んでおられ、手話劇コンクールとしての開催が難しいなか、なんとか手話劇の伝統を守っていかこうとする熱意と「実施できてよかった！」という喜びを感じました。

主催の京都賀茂ライオンズクラブの面々が入場案内を丁寧にしてくださったのも、印象的でした。開催趣旨にも、「手話が言葉として身近なものになってきたこと、お互い理解を深め、手話文化の発展を願って企画したこと（抜粋）」が記されていました。

楽しませていただき、ありがとうございました！

上京支部 昼の部 村田朱美



京都市聴覚障害者協会成人講座

楽しいスポーツ大会

11月25日（土）、京都市障害者スポーツセンターにて「楽しいスポーツ大会」が開催されました。42名（ろう者29名・みみずく11名・講師2名）の参加があり、私は初めて参加しました。準備体操の後「あか」「しろ」に分かれ、フライングディスク、輪投げ、伝言リレー（新競技）、カローリング、じゃんけんリレーの5種目で競いました。カローリングのローラーをまっすぐ投げられない私に、初めてお会いしたろう者の方々は丁寧に教えて下さいました。手話とスポーツの交流を十分楽しむことができました。次回機会があれば、皆さんぜひ参加してみてください。

中京支部 昼の部 尾島美佳



4年ぶりの合同研修会 和歌山へ行ってきました！

コロナ禍前は、2年に1回、市聴協山科支部とみみずく山科支部(昼の部・夜の部)で相談しながらお出かけ企画を考え実施してきました。

8月26日(土)、晴天に恵まれました！！ でも、とても暑かったです。

和歌山の聴覚障害高齢者対応老人ホーム「きのくにの手」に見学に行きました。市聴協14名、みみずく30名の参加がありました。施設長から、建設までの苦労話や説明のあと、施設内を案内していただきました。

施設見学後、黒潮市場で昼食とお買い物。その後、紀三井寺を参拝して帰路につきました。

1日、一緒に楽しく過ごすと、たくさん手話を使いますよね。

当日バスの中では、市聴協の参加者へ、近くのみみずく会員が手話通訳するようにして、できるだけ沢山手話を使うことを意識するよう、実行委員さんが色々工夫していただきました。

ありがとうございました。

手話で、自然な交流が出来たら一番いいことです。

山科支部 夜の部 西田弘美





2023 年度 第 18 回 試験日
10 月 14 日 (土) 5 級・4 級
10 月 15 日 (日) 3 級・2 級
10 月 21 日 (土) 準 1 級・1 級

5 級の手話検定を受験してみて

去年の 11 月に南区のみみずくのサークルに初めて参加して、少し経った時にサークルの方に、「手話検定 5 級の実験があるので、来年受験してみてもいい」とすすめてもらったので、挑戦しようと思い、少しずつ 1 年間ぐらい勉強して挑戦してみました。勉強はひたすら手話検定 5 級の本の DVD を見たり、サークルの方々の手話を見て、少しずつ覚えて手話検定を受験しました。

当日手話検定の試験の時は少し緊張しましたが、面接の時に面接官が DVD に出演していた方でうれしくて、緊張が少しほぐれて、笑顔で面接ができました。

来年は 4 級に挑戦しようと思います。

南支部 荻野 志穂

全国手話検定試験を受験して

手話の勉強を始めて 1 年半が過ぎ、先日、全国手話検定試験にチャレンジしてきました。

サークルのみなさんに、面接の模擬練習や、たくさんのアドバイスをいただいて、当日は読み取りの筆記試験、スピーチと会話の面接試験、ともに緊張の連続でしたが、爽やかな充実感に包まれるよい 1 日になりました。

いつもみんなでワイワイ和やかに応援し合う、陽だまりのような温かさに満ちたサークルを通じてこれからも手話の勉強を楽しんでいきたいと思っています。

南支部 岩本光栄



HP リニューアル&YouTube チャンネル開設のお知らせ

みみずく会では創立 60 周年を契機として、本部運営委員会では活動内容などを広く情報発信することを目的に①HP のリニューアル②YouTube チャンネルの開設をしました。

今後はイベント情報や各支部、例会上からのお知らせなども掲載予定です。下の QR コードからご覧ください。また、現在班員募集中です！HP 運営や動画編集に興味のある会員さんがいらしたら、是非一緒に活動しましょう！

【HP 班 安政（西京火曜日）、中村（左京）、竹井（中京夜の部）】



<http://www.mimizuku-kyoto.com>

<https://www.youtube.com/@Mi3zuku-kyoto>

行 事 予 定

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ◎ 1 月 7 日(日) | 第 24 回京都市聴覚障害者成人式&新年大会 |
| ◎ 1 月 28 日(日) | 第 19 回手話フェスティバル |
| ◎ 2 月 11 日(日) | さかの映画祭 |
| ◎ 2 月 23 日(金・祝) | 耳の日記念集会 |
| ◎ 3 月 24 日(日) | 近畿手話サークルフォーラム |
| ◎ 3 月 17 日(日) | 「みみずく」全体研修会 |
| ◎ 4 月 29 日(月・祝) | 「みみずく」定期総会 |



【編集後記】

「みみずく」創立 60 周年記念式典など、今年度はイベント盛り沢山で、58 号に載せることが出来なかった行事もたくさんありました。市聴協成人講座の『アメリカ手話（国際手話）を学ぼう』では 7 月から 11 月まで 6 回開催されましたが、楽しくてあっという間でした。来年度も開催される事を期待しています。

今年度、まだまだイベントや勉強会がいろいろ開催されます。初めての時や、支部からの参加が一人のときなど、最初は心細いですが、参加してしまえば楽しかった思い出ばかりです。ぜひ積極的に参加いたしましょう！！

今回初のみみたん通信担当で焦りましたが、皆様のご協力のおかげで無事発行することが出来ました。たくさんの寄稿ありがとうございました。

一村 説子